

自由診療の役割と 皆保険制度の持続可能性

— 先端医療と新薬アクセスの未来像 —

2026年
3月7日
土曜日

一部
基調講演

13:00
～
13:30

自由診療振興協議会 代表理事

鴨下 一郎 開会挨拶・本セミナーの趣旨説明

二部
基調講演
特別講演

13:30
～
14:10

前厚生労働省医薬局長

福岡 資麿 皆保険制度の持続可能性のために自由診療が担うべき役割

前厚生労働省医薬局長

城 克文 医薬品から見た皆保険制度の制約と自由診療

IGPI グループ シニア エグゼクティブ フェロー

岩崎 真人 ドラッグラグ・ロス下における新薬アクセスと自由診療の可能性

三部
特別講演

14:30
～
15:30

一般社団法人 Medical Excellence JAPAN 理事長

渋谷 健司 医療インバウンドが切り拓く稼ぐ医療

医療法人龍志会 理事長

堀 信一 国際医療・自由診療を活用した医療機関の競争力強化と経営改善

元厚生労働大臣 自由診療振興協議会 理事

塩崎 恭久 全体総括



開催日時：2026年3月7日 土曜日 13:00～(受付開始 12:30)

会場：ルポール麹町 3F マーブル
〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-4-3

会費：50,000円



セミナーお申し込み

セミナー趣旨

新たな自由診療が振興することは、世界に冠たる皆保険制度を堅持することになり、診療報酬の財政的負担を軽減し、公的医療の持続可能性を高めることになります。

自由診療という、多様なメニューが提示されることで、国民の選択肢が広がるというメリットがあります。

日本の優れた医療が自由診療という新たな分野に広がることにより、経済を牽引していく成長戦略の有望な分野としての発展が期待されます。

医療すべての分野において発展の可能性が考えられます。

この重要なテーマについてさらに議論を深め、日本の医療に貢献するために、自由診療振興協議会主催のセミナーを開催します。皆様の積極的な参加をお待ちしております。

セミナー登壇者紹介（登壇順）



自由診療振興協議会 代表理事
鴨下一郎

医学博士。衆議院議員9期を務め、厚生労働副大臣、厚生労働委員長、環境大臣を歴任。自由民主党社会保障制度調査会会長、新型コロナウイルスに関するワクチン対策プロジェクトチーム座長などを務め、社会保障政策の推進に尽力。旭日大綬章受章。日本大学大学院医学研究科修了。現在は一般財団法人日本退職公務員連盟会長、一般社団法人全国介護付ホーム協会顧問等を務める。



前厚生労働大臣
福岡 資麿

参議院議員（佐賀県選挙区・3期）。厚生労働大臣として、医療・年金・雇用をはじめとする社会保障行政全般を統括。参議院厚生労働委員会筆頭理事、参議院議院運営委員長など要職を歴任。慶應義塾大学法学部卒業後、三菱地所勤務を経て政界入り。現在も国政の場において、社会保障政策の立案・推進を担う。



前厚生労働省医薬局長
城 克文

旧厚生省入省後、医政局経済課長、保険局総務課長、内閣官房健康・医療戦略室次長、国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）理事、厚生労働省大臣官房医薬産業振興・医療情報審議官、医薬局長など要職を歴任。医療政策および医薬品行政において、制度設計から実務運営まで幅広い知見を有する。



一般社団法人 Medical Excellence JAPAN 理事長
渋谷 健司

公衆衛生学者として国際保健・ポピュレーションヘルス分野を専門とする。東京大学医学部卒業後、ハーバード大学大学院にて公衆衛生学博士号を取得。世界保健機関（WHO）上級顧問、東京大学大学院教授、英国キングス・カレッジ・ロンドン教授等を歴任。現在は医療政策、保健システムのイノベーション、ベンチャー投資、医療の国際展開等に貢献している。



IGPI グループ
シニア エグゼクティブ フェロー
岩崎 真人

医学博士。武田薬品工業にて主要な役職を歴任後、代表取締役 日本管掌に就任。同社のグローバル化に尽力し、武田薬品工業の製品ポートフォリオの拡大と世界の医薬品市場における同社の地位の強化に貢献。また、日本医薬品事業本部長、日本製薬工業協会副会長を務めた経験から、日本における業界や市場状況について高い識見を持つ。東京薬科大学にて薬学の修士号、順天堂大学で医学博士号を取得。



医療法人龍志会 理事長
堀 信一

医学博士。徳島大学医学部卒業後、大阪大学医学部放射線科にて研修・助手を務め、スイス・ベルン大学放射線科医師、八尾市立病院放射線科部長などを歴任。抗がん IVR（Interventional Radiology Guided Therapy）を専門とし、日本医学放射線学会専門医・日本 IVR 学会指導医。現在は医療法人龍志会理事長を務める。



元厚生労働大臣
自由診療振興協議会 理事
塩崎 恭久

衆議院議員8期、参議院議員1期を務め、長年にわたり国政の中枢で活動。厚生労働大臣（第17・18代）として社会保障制度改革を主導し、内閣官房長官・拉致問題担当大臣、外務副大臣などを歴任。東京大学卒業後、日本銀行勤務を経てハーバード大学大学院にて行政学修士号を取得。現在も医療・雇用・年金政策に関する知見をもとに活動。